

【島のくらしの情報】

佐久島

① 仕事(収入)の状況	主な産業は漁業で、島民のほぼ全てが漁業権を所有し、アサリ漁などで生計を立てています。また、漁業以外では、民宿・食堂などに従事する島民もいます。
② 住居の状況 (貸家、空き家など)	数件～十数件の空き家があり、島民による「佐久島定住部会」によって情報を共有し、定住促進につながる体制をとっています。
③ 医療環境の状況	西尾市佐久島診療所があります。自治医科大学の卒業医が週3回の診療。歯科はありません。救患の輸送に海上タクシーや漁船を使用。市から搬送費に対し助成制度があります。 重症の救急患者に対しては、ドクターヘリ事業が愛知医科大学病院により実施されており、県内の主要病院への搬送が可能です。 また、へき地医療支援システムにより、愛知県がんセンター愛知病院から専門医による画像診断などが可能となっています。
④ 福祉環境の状況	送迎による生きがい対応型デイサービスを実施し介護予防に努めています。 介護保険制度の運用により島へ派遣されるホームヘルパー等への交通費補助が市より行われています。
⑤ 教育環境の状況	小学校が1校、中学校が1校あります。佐久島校区以外の児童、生徒を受け入れており、毎年島外から少人数の児童・生徒を迎えています。(通称:しおかぜ通学) 島に高校はなく、本土の高校へ通学しています。高校生の定期船における定期券購入額の一部を助成しています。

<p>⑥ 上下水道・電気・ガスの状況</p>	<p>島内の水道利用状況(普及率)は100%、本土から海底送水管にて送水されています。し尿処理は100%が水洗化。収集運搬され、本土にて処理されます。 ガスはプロパンです。 電気は、本土から海底送電ケーブルにて送電されています。</p>
<p>⑦ 本土との交通手段(費用、時間、便数など)</p>	<p>【本土側の公共交通機関】</p> <p>◆電車の場合 東京駅から東海道新幹線のぞみで名古屋駅まで約1時間45分 名鉄名古屋駅から名古屋本線で豊橋方面へ。新安城駅から西尾線に入り、西尾駅で下車(所用時間:約60分) 西尾駅から名鉄東部交通バス一色さかな広場・佐久島行船のりば行きバスで約30分</p> <p>◆お車の場合 東名高速道路 音羽・蒲郡IC経由、一色さかな広場・佐久島行船のりばまで約50分</p> <p>【航路】高速船 愛知県西尾市一色港から佐久島へ 高速船で約20分(1日7~8便)・大人片道820円</p>
<p>⑧ 島内の交通手段(費用、便数など)</p>	<p>徒歩またはレンタサイクルでの移動となります。タクシーやバスはありません。</p>

<p>⑨ 買い物場所・物価の状況</p>	<p>よろず屋がありますが生鮮食品は取り扱いがないため、主な買い物は島外で購入するか、農協佐久島支店での配達注文により行っています。</p>
<p>⑩ これまでの移住実績</p>	<p>定住実績は、市が把握しているもので数件あります。また、定住促進は、島民による「佐久島定住部会」と協働で進めています。 お問い合わせ：西尾市役所一色支所佐久島振興課 電話0563-72-9607</p>
<p>⑪ 移住を希望される方の短期滞在、下見に対する支援の状況</p>	<p>西尾市地域振興部佐久島振興課が窓口となり、島民による「佐久島定住部会」と協働で空家の下見の案内をしています。 お問い合わせ：西尾市役所一色支所佐久島振興課 電話0563-72-9607</p>
<p>⑫ 移住にあたっての支援の状況</p>	<p>佐久島振興課が窓口となり、「佐久島定住部会」への紹介をしています。</p>
<p>⑬ そのほか島での暮らしについて伝えておくべき必要な情報</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用の場が少ないです。(主な産業である漁業でも、漁業権取得に2年程度かかるなど) ・子ども連れの場合、通える高校は限定されます。 ・島で開催される清掃、寄り合い、ボランティア活動、消防団活動(男性)、お祭りなどに積極的に参加し、自分から地域に溶け込む努力をすることが大切です。 ・定住希望の場合、佐久島の現状・人間関係等をよく知っていただき、どうしても佐久島を希望するという強い意志が必要です。